

----- これからの「日本」と「朝鮮」の権、歴史清算アピール

日韓会談文書

韓国で

全面公開が問いかけるもの

●去る8月26日、韓国政府は日韓基本条約締結に至る交渉文書を全面公開しました。「国民の知る権利にこたえ、過去を透明にし、未来につなげるため」と、文書公開の目的を語った韓国政府と、かたくなに非公開を続ける日本政府の姿勢の開きは誰の目にも明らかです。これは、私たちが閉ざされた国で、真実を知る権利を阻害されて生きているという事実を示している、と言えるのではないのでしょうか。

●韓国政府は今回の文書公開を受けて、強制連行被害者への補償措置が不十分だったことを認め、日本政府に関連資料の提出を求めた上で、早ければ来年上半期から支援対策を進めるとしています。一方、「慰安婦」問題、サハリン残留韓国人問題や在韓被爆者問題については外交文書に記述が無いことを明らかにし、「日本政府に法的責任が残っている」と明確に述べました。

●このように「未来」に禍根を残した「過去」の清算が、どのように行われたのか。その一端が交渉の片方の当事者から明らかにされたにもかかわらず、日本政府は今回の「日朝国交交渉」において、植民地支配責任を再びうやむやにしようとし、「日韓国交」関連文書を秘匿し続けています。

●私たちは、日本政府が自らに残された責任を果たすために、そして、より開かれた社会を実現するために、この度の韓国政府による文書公開の内容とその意義や、この国に暮らす私たち自身の今後の課題について検討し、あわせて日本政府に対して、資料の全面公開を強く求めていきたいと思えます。

日時：12月18日(日)

午後3時～5時30分

会場：在日本韓国YMCA 9階ホール

(JR「水道橋駅」東口から徒歩6分)

資料代：1000円(学生500円)

シンポジウム 司会：内海愛子さん

- 太田 修さん「韓日会談文書にみる文化財・在日問題」
- 吉澤文寿さん「韓日会談文書にみる請求権問題」
- 板垣竜太さん「植民地支配—『過去清算』をどう考えるか」
- 質疑応答・全体討論

●共催●「朝鮮—日本 絡まり合った歴史と現在を考える集い」 http://www.geocities.jp/kj_tsudoi/
「日韓条約文書・全面公開を求める会」(準)

<連絡先> 在日韓国人問題研究所 (RAIK) 電話：03-3203-7575 Eメール：raik@abox5.so-net.ne.jp

